

佐久平女性大学運営事業【長野県佐久市】

総事業費	4,835 千円
交付金額	2,341 千円

地域の実情と課題

- ・市の審議会等委員に占める女性の割合は低く、「女性の意見」が市政に十分反映されていない現状がある。
- ・市民意識調査等から、地域社会における活動に女性の参画が少ない理由として、「男性が担うことのしきたりや慣習」のほか、「女性自身が消極的」といった、女性を取り巻く環境や意識が挙げられた。
- ・男女共同参画の社会づくりとして、男性の意識改革に加え、女性自身の意識も変えていく必要があるなど、課題解決に向けた抜本的な施策の必要性が増してきた。

事業の特徴

【実践的なカリキュラム】
「聴く力」、「話す力」、「論点を押え整理する力」などの実践力を身に着ける講座を年間10回、その他に課外講座、公開講座を、素晴らしい講師をお迎えし、魅力的な構成で実施

【学生にクロームブックの貸与】
レポート提出や情報共有の手段として活用、またグーグルクラスルームなどのアプリを使い、仲間や大学とつながりやすい環境の整備

【個人面談の実施】
学長による個人面談、卒業後1年間のフォローなど、学生一人ひとりに寄り添ったエンカレッジ教育の実施

事業の効果

- ・実践的なカリキュラムにより、知識や技能の習得・向上が図られ、学生それぞれが自己肯定感を高め、自己の目標を明確にすることで、職場や地域などあらゆる分野で活躍する女性の育成が図られる
- ・充実した大学運営を継続して実施することにより、さらなる女性活躍推進につなげていく
- ・大学で学び知見・スキルを習得した卒業生が、市の審議会等の様々な政策や方針決定の場に積極的に参加することにより、市は女性の視点やアイデアを取り入れ、実効性のある政策を行うことができる
- ・市の審議会等への女性委員の登用率向上が図られる

目的・目標

男女共同参画社会の実現を図るため、条例で位置付けられた市民大学

- ・女性のあらゆる分野での活躍を支援する取組の一環
- ・生涯成長、生涯就業力を養い、様々な場面で活躍できる人材の育成
- ・大学での学びを、職場や地域、家庭などで活かし、自分らしく輝いた人生を送っていただくとともに、積極的に市政等への参加も期待

連携団体

- 男女共同参画意識づくりの推進団体
「佐久市男女共生ネットワーク」「パートナーシップ佐久」
- 佐久市企業人権同和教育推進連絡協議会
協議会を構成する企業に、大学の目的、講義内容を理解いただき、所属する社員が学生として積極的に受講できる環境を整えるための協力をいただいた

今後の課題

本大学運営事業により、受講した学生の意識が大きく変化したことが伺えた。女性活躍推進を担う女性が増えることにより、男性を含めた周囲の方々の理解を促進する効果が見込めるが、このような女性活躍推進を含めた男女共同参画における意識改革についてはまだまだ時間を要することから、佐久平女性大学事業のような取組を継続して実施していく必要がある。

事業の概要

大学の目的

女性があらゆる分野で活躍することを支援する事業の一環として、知識や技能の向上を図ること、活力ある地域づくりと心豊かな地域の仲間を作ることを目的としています。

大学の特色

ニューノーマルな時代に生涯成長、生涯就業力を持った女性を育成するため“**みつめる！まなぶ！つながる！いかす！**”を合言葉に独自の教養講座と実践講座による学生一人ひとりへのエンカレッジ教育（個々の目標達成に向けた寄り添った教育）に取り組めます。

安心して学べる環境を整備

みつめる

自分らしい生き方、
時代が求める女性像、
女性が求める社会

まなぶ

教養・実践の講座
ミクロ・マクロの視点
聴く力・伝える力
質問・提案する力

タブレット 型PC貸与

学生同士、学生
と大学が繋がる

パートナー制度

家族や職場の上司
と一緒に参加し、
学びを共有する

心理的安全性

自分の考えや
気持ちを安心して
発言できる場

つながる

自分×大学×職場
×地域×家庭×仲間
そして生きがいに

いかす

職場で、地域で、
家庭で、今できる
ことから一歩ずつ

無料の託児

学生が安心して
学べる

大学の内容等

- 内容 教養講座及び実践講座
- 回数 年10回程度
- 時間 平日又は土曜日の4～6時間程度
- 場所 佐久市役所ほか
- 定員 20名程度
- 学費 無料
- 入学資格 市内に居住又は通勤・通学する
18歳以上65歳未満の女性
- 卒業要件 8割以上の出席

講座の様子



卒業発表会の様子